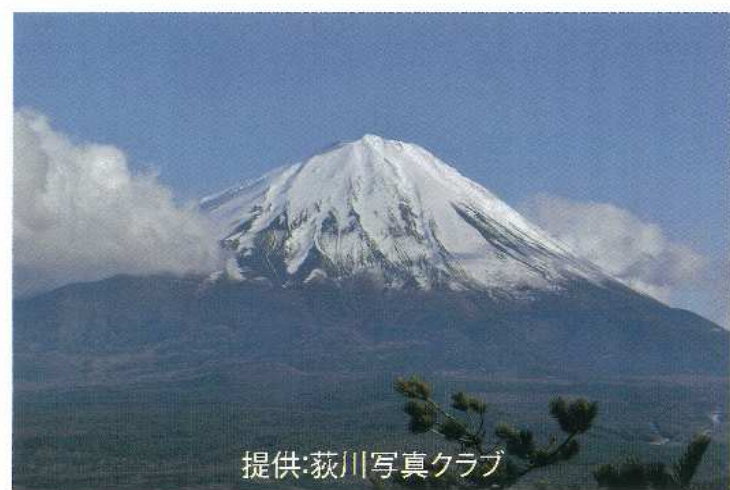




提供:荻川写真クラブ

明けまして
おめでと
うござい
ます
エ〇エ六新春

広報

おぎかわ

2026. 1. 1 第219号

発行者 荻川コミ協

発行人 窪田吉衛

電話 (24) 5776

荻川の人口	世帯数	7,266戸
	人口	18,003人
	(前年10月比-118人)	
	男性	8,761人
	女性	9,242人
(2025年11月末日現在)		

“若さあふれ”
“やりがいある”
“安全快適”
なまちづくり

新年のご挨拶



荻川コミュニティ振興協議会
会長 窪田 吉衛

新しい年を迎え、皆様にご挨拶申し上げます。

おかげさまで、今年度コミ協の地域活動として計画していた運動会等の諸行事は、予定通り実施することができました。また、年間を通して計画や検討を重ね、それらの実施に向けて活動を続けてくれた各専門部会の多くの皆さんにお礼を申し上げます。

一方、コミセンを利用した日常活動に於いては多くの趣味・文化・スポーツ等の活動を介した仲間づくりの豊かさが感じられ、良き地域づくりの伝統が続いていると思います。今年から大人には気付かない分野である子どもと若者の考え方や活動・意見・関心等を意識した活動を若者と一緒に行おうと活動を始めました。時間が掛かると思いますが見守ってください。

今年もみんな有意義な一年を過ごしましょう。

第四十二回荻川地区文化祭開催

11月2日(日)・3日(月祝)の2日間「荻川地区文化祭」が開催されました。展示会場である体育館には、コミセンを

中心に制作活動されている15団体の作品をはじめ、第二中学校、こども園、学童施設、介護施設からの出展作品や、賛助作品及び一般応募作品など多くの力作が展示され、とともに鉄道模型走行会も行われました。本館和室では、第二中学校茶道部のお茶席会が設けられ、味わい深いお茶を堪能していただきました。

また、分館機能訓練室では、5組の音楽イベントを開催し、多くの皆様に素敵な時間を過ごしてもらい、分館2階大会議室では、アロマの体験コーナー(予約制)で、お好みのルームコロンを作っていました。

来場者数は、2日間で800人を超えて、コミセンの駐車場が満車になることも多々ありました。

今年も準備及び後片付けは文化教養部員、出展団体の皆様、その他コミセン関係者の協力を得て、スムーズに行うことができました。休日返上で準備等いただいた皆様には心から感謝いたします。

今後、荻川地区住民一体となり、喜んでいただける文化祭を作り上げていきたいと思っています。

(文化教養部)



新潟市老人福祉大会が開催

10月24日(金)、新潟市体育館において、第19回新潟市老人福祉大会が、市内8区の老人クラブの方々約600名の参加を得て開催されました。

開会式典・表彰において、「秋葉区老人クラブ連合会女性部(代表:笹木正子)」が、公益財団法人全国老人クラブ連合会の「2025活動賞」を受賞しました。

受賞理由は、古くからの伝承芸能「銭太鼓」を復興・保存に努め、新たな振り付けを独自に創作、楽器作りも手弁当で行い、会員が増え、ると共に単なる演奏会披露だけでなく、子供達との世代間交流や、高齢者との仲間づくり、支え合い等の友愛活動が顕著であるとのこと。



賞状授与の後、代表の笹木正子さんは被表彰者の代表としての謝辞で「この受賞は多くの仲間達との活動の積み重ねが認められたものであり、仲間全員が頂いたものであり、仲間全員の宝物です。今後も『健康寿命』の延長を目指して努力してまいります。」と述べられました。

第2部のアトラクションでは、トップバッターに秋葉区老連43名による「銭太鼓」3曲が演奏され、万雷の拍手を浴びました。



秋葉区老連カラオケまつり

11月27日(木)小合コミセンにおいて、秋葉区老連主催の第32回秋葉区老連カラオケまつりが開催されました。

開会式で郷秀雄区老連会長の挨拶の後、石野誠副会長を含む二役による歌い始めが始まりました。

秋葉区内の各老人クラブに所属する会員でカラオケ大好き、のど自慢の人達63名が堂に会し、各自の十八番が披露されました。



荻川地区からは、車場寿会から12名、中野親和会8名、荻島荻友会6名、みそら野2名の28名が出演され、熱唱されました。

ミニ団扇による手作りの応援グッズを、リズムに合わせて振りながらの応援団もいて、まつりは最高潮に盛り上がりしました。

第49回荻川地区親善卓球大会

10月26日(日)荻川コミセン体育館を会場にて第49回荻川地区親善卓球大会が開催されました。

残念ながら今回も試験問近のため中学生の参加は無いながら男女24名の参加となりました。

大会は予選リーグ、決勝トーナメント戦の形式で最後まで楽しみながら試合を行いました。

怪我も無く、お昼過ぎには終了し皆さん賞品や参加賞をもらい笑顔での解散となりました。

成績は一般A優勝大平さん、準優勝吉田さん、一般B優勝重野さん、準優勝黒崎

さん、女子A優勝長谷川さん、準優勝土屋さん、女子B優勝鈴木さん、準優勝島さんでした。

参加された皆さん大変お疲れ様でした。

(保健体育部)

第81回荻川地区秋季バレーボール大会

11月23日(日)荻川コミセン体育館を会場にて第81回荻川地区秋季バレーボール大会が開催されました。

今回は前回より参加チームが増えて11チーム130名の参加で盛大に行われました。

試合はAブロック5チームのリーグ戦で、Bブロックは3チーム2つの予選リーグを行い各1位2位3位同士で順位決定戦を行いました。

各試合ともスーパースプレーあり珍プレーありの大変白熱したゲームで大変盛り上がりしました。

成績は、Aブロック優勝荻島チーム(大会二連覇)、準優勝みそら野チーム、Bブロック優勝CENTRAL ADULTS、準優勝荻野町チームでした。

参加された選手皆さん、応援の皆さん、スタッフの皆さん大変お疲れ様でした。

(保健体育部)



Aブロック優勝 荻島チーム



Bブロック優勝 CENTRAL ADULTS

第75回荻川地区親善バドミントン大会

11月9日(日)第75回荻川地区親善バドミントン大会が荻川コミセン体育館で開催されました。

今回は参加者50名で競技種目は男子ABCと女子BCの5種目となり、参加チーム数により、男子Bは2ブロックに分けた予選リーグ後に順位決定戦、その他の種目は決勝リーグ戦の方式で行われました。



当日は会場となった体育館内は思ったより寒くならずスムーズに試合を進められ最後まで怪我無く夕方には無事大会を終えることが出来ました。

成績は、男子A優勝加藤坂上組、準優勝新野齋藤組、男子B優勝光井松尾組、準優勝島垣新藤組、男子C優勝渡辺大坂組、準優勝阿部土屋組、女子B優勝稲垣佐藤組、準優勝橋本福嶋組、女子C優勝佐藤(裕)佐藤(未)組、準優勝佐藤(佳)佐藤(望)組でした。

参加された皆さん大変お疲れ様でした。

(保健体育部)



おぎかわ生涯学習講座

令和7年度後期おぎかわ生涯学習講座が、11月15日(土)荻川コミセンで開催されました。

第2回講座は「歎異抄に学ぶ」と題して、浄土真宗学院上席講師の深田洋史氏の講演です。

「無人島に、二冊持っていくなら、『歎異抄』と言われるこの本は、親鸞聖人の弟子唯円が、親鸞聖人のお言葉と俗説について記述された本だそうなんです。

お釈迦様が悟りを開かれたのは「大宇宙の真理」全ての人が本当の幸福になる真理」で、それは無上仏である阿彌陀仏の教えだと言います。

お釈迦様による35歳から45年間の教えは、7千冊以上のお経(一切経)になって残され、中国を経て日本に伝来され、親鸞聖人により多くの人々にその教え(浄土真宗)を広められたことや、悟りには52段階もあるなど仏教の基礎的な事を解説して頂きました。

人生を考え直すベストセラーと言われる「歎異抄」、二度読んでみたいと思いました。



秋の日帰りバス旅行

いきいき塾では、秋の旅行を10月27日(月)に「苗場ドラゴンドラ」に乗って紅葉狩りの旅を実施しました。

前日までの天気予報ではあまり良い予報ではなく心配しましたが、当日は曇り空から徐々に晴れ間が見えホッとした気分の中バスは40名を乗せ二路苗場を日指して出発しました。

田代ロープウェイ(定員91名)でいっきに山頂駅まで約10分の空中散歩、標高1423mのためさすがに風が冷たい中、記念写真を撮ったりしてしばし付近を散策しました。

待ちに待ったドラゴンドラに乗車、ドラゴンの背中様の山や谷をジェットコースターのように昇り降り、あまりにも急勾配のために思わず悲鳴をあげる人もいたりして約25分間紅葉をみながら秋の空中散歩を楽しみました。



昼食は農家レストランで地元土産地域の食材を使用した料理を味わい、乾杯。

参加者一同バスの旅を楽しみました。

皆さま方も一緒に楽しませるか、まずはいきいき塾に入会して各サークル活動や春・秋のバス旅行を楽しみましょう。

(皆我和寿)

女性部の親睦を深める会

11月16日(日)女性部では「親睦を深める会」を開催しました。「ちまき」「五目ごはん」「豚汁」を作りました。当初そば打ち体験を計画しましたが、講師の体調が優れず断念し上記のメニューとなりました。

ちまきは作り方が面倒です。何とか形になりました。

(女性部)



第3回 なかの防災フェスタ開催

11月24日(月) 萩川コミセンにおいて、第3回 なかの防災フェスタが開催され、多くの方々が来場し防災意識の高揚がなされました。

屋外会場の駐車場には、新潟県内に1台しかない地震起動車が設置され、東日本大震災と同じ震度7の激しい縦揺れ横揺れでは、テーブルをしっかりと握り耐えただけでは何にも出来ませんでした。

濃煙体験ハウスも設置され、ハウス内は真っ白な煙が充満しており、まさに一寸先が見えません。鼻と口をハンカチなどで覆い、姿勢を低くして障害物を避けながら数メートル先の出口にゆつくりと向かいました。ほかに、消火器放水体験、バケツリレー体験コーナーもありました。

屋内会場の体育館では、消防士の指導による心臓マッサージ・AED操作体験を始め、子供を対象にした防災服試着体験、段ボールベッドの組立体験、新聞紙などの日用品を利用した応急手当体験など、盛りだくさんの防災体験コーナーがあり、親子連れの方などが参加されました。

また、子供から大人までの年代別の防災クイズ大会もあり、真剣にクイズに挑戦し参加賞のお菓子セットをゲットしました。更に、お湯を注ぐだけで温かいご飯になる非常食の試食コーナーもあり、災害時の避難所体験もすることが出来ました。

最近地球温暖化が進み、災害は忘れないうちやってくる。ようになつており、このような防災訓練は益々重要になつてきていると思います。

防災フェスタの運営にご協力頂いた市職員、消防士各位、並びに町内役員の皆さんに対し、厚く感謝申し上げます。



北潟町内 秋の防災訓練を実施

10月12日(日)、北潟町内会では、秋の防災訓練を実施しました。訓練には約20人が参加し、119番への

訓練通報、消火器を使用した初期消火訓練、消防団によるAEDの操作方法実演などを行いました。

北潟町内会では春にも避難訓練を実施しており、今回の訓練と合わせ町内の防災意識の向上を図ることができました。



こがね公園チューリップ球根植栽

11月2日(日)曜日、町内約15名の協力で、こがね公園にてチューリップ球根の植栽を行いました。1週間前は雨で順延しましたが、当日は無事植栽を行うことが出来ました。来年の春、チューリップがきれいな花を咲かせ、公園にきた方や町内の方々の楽しませてくれることでしょう。今から花が咲くのが待ち遠しいです。(こがね町自治会)



「お一人様ふれあい昼食会」

中野町内会

七十歳以上の1人暮らしの方を対象にした中野町内会上催の昼食会が、11月10日(月)に弥彦温泉「さくら湯」で、22名の参加を得て開催されました。

この会は、中野町内会の各会長を始め、民生児童委員らで構成する「中野ふれあいの町づくり福祉委員会」が、高齢者・障害者・青少年の地域福祉対策事業を推進するため、平成八年四月に結成され活動を続けています。

過去には、PTAの方々の協力を得て子供達を対象にした昼食会も開催してきました。今回は1人暮らしの高齢者が対象でした。

認知症防止のためにも地域住民との交流を図るため、参加を呼びかけて、日帰り温泉で汗を流し、美味しい昼食を頂きながら談笑して、楽しいひと時をすごしました。昼食後、近くの道の駅「SORA IIR 国上」にお土産を買ったため立ち寄ったところ、駐車した際に宮崎ナンバーのキャンピングカー(熟年夫婦と愛犬が同乗)、神戸ナンバーの乗用車(若夫婦)止まっており、遠方からの観光客にビックリしました。



「わーいー大きなサツマイモがとれたよ。」

サツマイモがとれたよ。

10月11日(土)に、結・福島町内の子どもたちが、お父さん、お母さん、地域のおじさん達とサツマイモの収穫を行って農業を体験しました。

このサツマイモの収穫は、結・福島エコグリーンが毎年農村環境保全活動及び、地域住民との交流の一環として、地域の方々と一緒に春に1,200本のサツマイモ(紅ハルカ)の苗を皆で一本一本丁寧に植えて、秋に収穫をする活動で15年以上行っています。今年のサツマイモは、猛暑にも負けず大きく育って子どもたちも一生懸命にも掘りを楽しみました。

北潟サロン

木守柿(こもりがき)開催

11月3日(月) 第二回北潟サロン木守柿開催しました。当日は子供、大人、高齢者、スタッフ含めて21人の参加がありました。

健康チエックを始め、お茶を飲みながら楽しいひと時を過ごしていただきました。先回のふれあい昼食会、今回のサロンと婦人会の皆様が力を合わせておこなう事業です。今後も「面倒をおかけしますが宜しくお願い致します。」

「木守柿(こもりがき)」は収穫時にすべてをとらないで、鳥たちや旅人のために、木の上に柿の実を1つだけ残しておくという慈悲の精神あふれる日本の古き...



コミセン構内冬囲い作業実施

11月16日(H)環境整備部11名による、コミセン構内冬囲い作業が行われました。

これからの降雪に備えてコミセン構内の樹木等の冬囲い作業です。

最初に部長より男結びのやり方を教えてもらいその後実践です。しかしなかなかすぐには覚えられず苦勞しながらの作業でしたが、さわやかな快晴の空の下何とか完成させることが出来ました。

これで予定していた年内の作業は終了であとは来年3月の冬囲い解体を残すのみとなりました。

参加された皆さんお疲れ様でした。

(環境整備部)



..... 荻川駅前交番だより

あけましておめでとうございます。
今年もよろしくおねがいします。

事故を一件でも減らすため、冬道の安全走行をお願いします。

●時間に余裕をもって行動しましょう。

冬道は路面状況によって速度を落として運転する必要があります。

いつもより早めに出動するなど、時間に余裕をもって、焦らず慎重な運転を心掛けましょう。

●運転前の準備をしっかりしましょう。

運転前に「車に積もった雪を落とす」「窓ガラスの曇りをとる」など、視界を確保してから出発しましょう。

●「急」がつく運転はやめましょう。

路面でスリップしないためにも「急発進」「急加速」「急ブレーキ」「急ハンドル」など「急」の付く運転はやめましょう。

●車間距離は広めにとりましょう。

雪道は路面が滑りやすくなっているため、ブレーキがきき始めてから、停止するまでの距離が長くなりますので、車間距離を広めにとりましょう。

●夜間の運転の際は、特に注意しましょう。

夜間の運転は昼夜に比べ視界も悪く、また、冷え込みによって路面もアイスバーンになりやすく、路面が滑りやすくなります。

秋葉警察署 0250-23-0110
(荻川駅前交番)

お知らせ・情報・会員募集コーナー

荻川の文化財No.16「荻島古戦場」

能代川の大蔵橋西詰に記念碑

慶応4年(1868年)1月、鳥羽・伏見の戦いで開始された戊辰戦争は、北上して越後長岡城の攻防戦が続くなか、新政府軍(長州・薩摩藩など)は柏崎から1000人余の部隊を船に乗せ、佐渡の小木港経由で太夫浜に上陸した。

上陸した主力の半分は新潟町へ半分は新発田城に進軍させ、福知山藩と芸州藩の一部約50人は新津方面に進軍し、木津の小阿賀野川の渡し場(三ツ口)に着陣した。

一方、能代川と小阿賀野川が合流

する能代川左岸に陣を構える奥羽越連判同盟軍の米沢藩は、7月29日戌の刻(午後8時)頃から幅100間(約180m)ほどの川を隔てて銃撃戦となり、翌8月1日の明け方まで続いた。

なかなか勝敗が付かないため、朝の4時頃に福知山藩兵は亀田の農兵約600人と共に、戦場下流の二本木から車場に渡河して、関の声と共に荻島の米沢藩陣地に迫ったため、米沢藩兵は新津町に敗走した。

追撃する福知山藩兵を結の庄屋は、新津町には同盟軍が500~600人も在陣しており、50人では多勢に無勢と引き留め、引き返しを建言した。

その後、小須戸から新津町引き上げて来た会津藩兵が荻島に戻り、小舟で渡河している福知山藩兵を射撃し皆沈没させたあと、銃撃戦が午後3時頃まで続いた後、会津藩兵は結の庄屋宅を放火して新津町へ引き上げた。

荻川の文化財No.17「田中定吉翁 渡し守の碑」

小阿賀野川を挟んだ大蔵と木津を結

ぶ渡し船の船頭として、村人の足の確保のために、その生涯を捧げたことから、地元有志が昭和十年十月に大蔵の川端にあった定吉翁の住家脇に顕彰碑を建立したが、河川改修により能代川左岸の大蔵橋西詰(荻島地内)に移転した。

古老の話によると、定吉翁はタマという猫と暮らしていて、お客が来ると渡し舟にピョンと飛び乗って、いつも一緒に居たそうです。

秋葉区荻野町でイノシシと遭遇。

11月29日(土)午前10時半頃散歩中にイノシシと遭遇、最初は犬かと、すぐに110に連絡しました。あわてていた為に写真は撮ることはできませんでした。その後のお話では車場付近でも確認されていた様です。何処から来たのやら、ビックリ



編集後記

「広報 おぎかわ」

話題・情報提供のお願い

総務部では読みやすく、より皆様に親しまれる広報作りを心掛けています。

町内会行事など身近な話題、耳寄りな情報やイラスト、写真など気軽に下記へお寄せください。

◆提供先 コミ協事務局(総務・広報部)
TEL 24-5776

あけましておめでとうございます。
昨年は生成AIが社会の基盤技術として定着し、GPT-5をはじめとする次世代モデルの登場や堂々生成の進化が大きな話題となりました。
一方で、著作権や倫理などの課題も浮き彫りとなり、「どのように活用するか」が企業や組織の重要テーマに。地域活動にも生成AIが取り入れられ、チャットボットの愛称が流行語になるほど、私たちの生活に身近な存在になった一年でもあります。
2026年は、完成AI・フィジカルAI・エージェントAIの普及が予想され、働き方や暮らし、価値観までもが大きく変わる可能性が示されています。生成AIがどのような変革をもたらすか、世界がどの方向に進むのか、今年もその動向から目が離せません。

〈M.T記〉